

## プレアルブミン（トランスサイレチン）の有用性

ヒトの血清蛋白は内臓蛋白量を反映するため、栄養アセスメントを行う際の指標となります。なかでも血清アルブミン（ALB）は血清総蛋白（TP）の約60%を占め、血清蛋白量を最もよく反映するといわれています。しかしながら、アルブミンの半減期は21日と長く、短期間の栄養状態の評価に適さないため、栄養療法の効果判定に苦慮します。そこで、比較的半減期の短い Rapid turnover protein（RTP）が用いられますが、当院ではそのなかでもプレアルブミン（トランスサイレチン：TTR）を院内測定しています。

その他の RTP

レチノール結合蛋白（RBP）、トランスフェリン（Tf）

RBPの半減期は  
0.5日だよ！

Tfの半減期は  
7日だよ！

### 【プレアルブミンについて】

合成場所：肝臓

血中半減期：約2日

組成が非必須アミノ酸に対して必須アミノ酸の割合が高いため、蛋白を補充すると正常化へ向かい、蛋白の摂取状況を鋭敏に反映する。

生理作用

甲状腺ホルモンのサイロキシン（T4）と結合し、その輸送蛋白となる。

TTR

肝臓での合成能は、肝疾患の末期まで保たれるため、他の血清蛋白に比べて肝疾患の影響を受けにくい。

生理作用

ビタミンAの輸送体であるレチノール結合蛋白と結合し、輸送を行う。

異常要因

高値	低値
甲状腺機能亢進症	肝機能異常
腎不全	蛋白質欠乏性栄養障害
ネフローゼ症候群	蛋白濾出性疾患
急性肝炎回復期	急性炎症性疾患

基準値

男性 23~42 mg/dL

女性 22~34 mg/dL

プレアルブミンは短期間の栄養状態を鋭敏に反映するため、栄養療法の評価に有用です。栄養評価をする際にはアルブミンに加えて、プレアルブミンもご依頼ください。（電子カルテの検体検査依頼画面の最初の画面の「NST セット」にて簡単に依頼できます）